

お茶の水女大家政 湯沢 雍彦

東洋英和女大人文 川崎 末美

戸板女子短大 久保 桂子

ライフ・デザイン研 ○林 千鶴

目的 近年、晩婚化が進み、結婚しない人が増加するなど結婚動向に変化が生じている。本研究は、こうした動向の把握・検討のために、未婚男女および既婚男女の結婚観を明らかにすることを目的とする。（1）では未婚者の結婚観について検討する。

方法 質問紙による調査および面接調査を実施。調査時期は1990年8月。調査対象はP社組合員。回収率は66%で、有効票数は未婚者2387票（男・1395票、女・992票）、既婚者1904票（男・1500票、女・404票）である。未婚者の年齢は、男性の80%、女性の91%が20歳代で、平均年齢は男性26.3歳、女性23.7歳である。職種は男性の53%が技術、23%が製造、女性は事務と製造にほぼ二分される。男性の60%が大卒以上、女性の66%が高卒、23%が短大卒以上である。

結果 ①男女とも結婚志向は強く、95%以上の者が結婚を希望している。しかし、男性の71%、女性の61%が「しばらくは結婚しない」と考えており、その理由として「まだ自由でいたい」というものが男女とも最も高い。また、男性では「経済的準備ができていない」、女性では「家庭を持ち親になる自信がまだない」という理由が目だつ。②結婚したい理由は、男性の「家事をしてくれる人がほしい」、女性の「自分の子どもがほしい」が特徴的である。また、「人生を共に支えあっていく人がほしい」という理由は女性の方が多い。③結婚の時にこだわる条件として、男女とも最も高い条件は「フィーリング」である。また、男女間の顕著な相違は、男性では「容姿」「年齢」、女性では「相手の親との相性」「収入」にこだわる者が多いことである。